



平成 22 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 二 子 八 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 井上 洋 一 郎
(コード番号 7943 東証一部・名証一部)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員財務部長 南 光 正
(TEL 052-220-5116)

特別損失の計上並びに業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ

当社は、当平成 22 年 3 月期（自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日）の個別決算において、下記のとおり特別損失の計上を行うことといたしましたのでお知らせします。

また、平成 22 年 2 月 9 日の第 3 四半期決算発表時に公表いたしました通期業績予想（以下「前回発表予想」）を連結・個別ともに修正するとともに、未定でありました平成 22 年 3 月期の剰余金の配当（期末配当）予想を下記のとおりとすることといたしましたので、併せてお知らせします。

記

1. 特別損失の計上

個別決算において、当社の米国連結子会社 Nichiha USA, Inc. の株式について、実質価額の下落に伴い関係会社株式評価損 15 億 80 百万円を特別損失に計上いたします。なお、同損失については、通期個別業績の前回発表予想に織り込み済みであり、また連結決算においては消去されます。

2. 業績予想の修正

(1)平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 22 年 2 月 9 日発表)	87,000	1,200	700	700	19.02
今 回 発 表 予 想 (B)	88,080	2,260	1,840	230	6.25
増 減 額 (B - A)	1,080	1,060	1,140	930	-
増 減 率 (%)	1.2	88.3	162.9	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 21 年 3 月期)	92,453	1,059	1,536	9,081	246.77

(2)連結業績予想修正の理由

当社グループ主力製品の窯業系外装材の主要マーケットであり先行指標でもある戸建住宅の新設着工戸数は、当第 3 四半期以降持ち直しております。このため、窯業系外装材業界全体の国内販売数量についても、本格的な回復には程遠いものの、当第 4 四半期（3 ヶ月）は前年同期比 0.5%（当年度の販売数量は、JIS 規格の改正に伴い集計対象外となった 12mm 厚製品を含む。）と 6 四半期ぶりに増加に転じました。この結果、当社グループの国内窯業系外装材事業の製品販売数量が想定を上回ることから、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

損益につきましても、国内窯業系外装材事業において、グループ全社を挙げて取り組んだ固定費の削減や合理化施策などによる変動費のコストダウンが想定を上回ることに加えて、上記のとおり売上高が前回発表予想を上回ることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

(参考)

平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 22 年 2 月 9 日発表)	71,500	750	650	1,850	50.27
今回発表予想(B)	72,340	1,520	1,440	1,110	30.16
増減額(B-A)	840	770	790	740	-
増減率(%)	1.2	102.7	121.5	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	80,982	263	414	12,044	327.28

3. 剰余金の配当予想

(1) 配当予想の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(平成 21 年 5 月 19 日公表)		(未定)	(未定)
今回発表予想		2円00銭	2円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績(平成 21 年 3 月期)	8円00銭	0円00銭	8円00銭

(2) 配当予想の概要

当社グループの配当政策につきましては、株主の皆様に対して長期的に安定した利益還元を行うとともに、当社グループの装置産業という属性を考慮すれば、企業体質強化のための内部留保の充実も必要と考え、配当性向と財務状況とのバランスを勘案しつつ、適正な配当水準を維持することを基本方針としており、配当性向については、連結ベースで20%程度を下限と考え運用しております。

平成 22 年 3 月期の剰余金の配当(期末配当)予想につきましては、平成 21 年 5 月 19 日の公表時においては未定とさせていただいておりましたが、上記の平成 22 年 3 月期の通期業績予想の修正のお知らせのとおり、連結業績において当期純利益が 2 億 30 百万円の利益となる見込みであることから、上記のとおり 1 株当たり配当金の予想を 2 円とさせていただきます。

以上